

仙台市森林アドバイザーの会



掛かり木の処理(旗立3丁目緑地)



アズマネザサの刈払い作業(箱倉山)

仙台市森林アドバイザーの会は、仙台市が主催する「森林アドバイザー養成講座」の修了生によって、平成16年に結成されました。植樹祭などの市民イベントで森林ボランティアの作業指導にあたりながら、荒れた人工林の間伐を実施して森に元気を取り戻したいと、森林整備を中心に、自然観察やクラフトづくりにも取り組んでいます。



市民育樹祭での指導風景

きっかけは 森林アドバイザー養成講座

仙台市が主催する「森林アドバイザー養成講座」は、森林ボランティア活動のリーダーを育成することを目的に、植林、下刈り、枝打ち、間伐など森

林作業の基本や、自然観察などを、1年間にわたって学ぶ講座です。仙台市森林アドバイザーの会は、この講座の修了生によって平成16年に結成されました。

毎年、新しい修了生を会員に迎えながら、仙台市から委託された植樹祭などの市民向けイベントで、作業の指導にあたるなどの活動を行っています。

活動を積み重ねるうちに、会員の中から、講座で得た知識や技術をもっと現場で役立て、荒廃した森を蘇らせるために貢献したいという声が出てきました。そこで、自分たちの活動拠点となるフィールドを探し、市の所有する「旗立3丁目緑地」と、民間の地主が所有する「箱倉山」の整備を受託することになりました。

旗立3丁目緑地の整備

旗立3丁目緑地の整備は、平成20年9月から始まりました。

この緑地は、もともと薪や炭を取る雑木林でしたが、40年程前にスギが植栽されました。しかし、国産材の需要が低迷したため、まったく手入れされずに放置されてきました。

整備を始める前は、密植されたスギがもやしのように伸び、日光も差し込まないため薄暗く、荒れ放題の状態でした。

この林をスギの単純林から樹種・樹齢とも多様な混交林に転換し、地域住民の癒しの場として活用できる環境林に転換するという目標を立て、整備に着手しました。

不法投棄されたゴミの片付けから始め、林内を整理し、スギの混み具合を調査して間伐対象木にマーキング。翌平成21年からは、月2回の定例活動日を定めて間伐を行ないました。複数の木につるが絡

まったり、密植のため切った木が掛かり木になりやすいなど、さまざまな困難がありました。1つひとつクリアしながら作業を進めていきました。

今年3月までに、29回、延べ234人で作業を行った結果、明るい林へと生まれ変わりました。

箱倉山での活動

箱倉山のフィールドの多くは、約40年前までは棚田だった所が耕作されなくなつた

めに、ハンノキなどの灌木やササが茂っている状態でした。冬にはササなどが枯れて見通しが良くなりますが、夏になると薄暗い程の雑木林となります。

地主さんからは「ツリーハウスなどがあるといい。焚き火を囲んでお弁当を食ったり、お茶が飲める場所があつたらいい」と要望を頂くなど、コミュニケーションを図りながら、3年間の予定で整備を進めています。

箱倉山のフィールドでは、春には山菜、秋にはキノコな

ど森の恵みにふれることができ、ハードな作業の疲れを癒すご褒美となっています。

新たなフィールドへ

平成22年度からは、旗立3丁目緑地の整備した地域の北側を、新たなフィールドとして取組を始めています。また、6年に及ぶ活動の中で、子ども会との自然観察会や森林整備状況の報告会など地域住民との交流や、他の森林保護団体との情報交換、共同作業も広がってきています。



子ども会の丸太切り会場を設営



間伐材の山出し作業



作業用の道路を設置

仙台市森林アドバイザーの会

- 会員数 76人(平成22年7月現在)
- 森づくり活動フィールド 宮城県仙台市 旗立3丁目緑地 箱倉山
- 活動日 第1土曜日・第3水曜日(旗立3丁目緑地)第4日曜日(箱倉山)
- ホームページ <http://blog.canpan.info/morittosendai/>